

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第5回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 出張地域協議会について（公開）

(2) 「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討について（公開）

3 開催日時

令和5年9月27日（水） 午後6時から午後6時58分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員： 村田敏昭（会長）、川住健作（副会長）、山井広子（副会長）
阿部清隆、石川美恵子、大瀧幸治、加藤國治、小林雅史、高橋敏光、
高宮宏一、長 和子、平良木美佐江、益田侑季（欠席3人）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、滝澤副所長、石黒係長、難波主任

8 発言の内容

【難波主任】

- ・ 神崎委員、高橋 誠委員、土屋委員を除く13人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

【村田会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：小林委員と加藤委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

【村田会長】

- ・「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

— 次第3 議題（1）出張地域協議会について—

【村田会長】

次に、次第3 議題（1）出張地域協議会についてに入る。

【難波主任】

- ・資料No.1により説明

【村田会長】

事務局の説明に対し、質疑を求める。

昭和町2丁目町内会長である阿部委員いかがか。

【阿部委員】

「（1）金谷区における地域活性化の方向性について」という内容の案について、昭和町2丁目町内会の役員等にも参加の声掛けをするが、金谷区全体の中での方向性、課題という話にはなりにくいのではないかと感じている。昭和町2丁目の実態等を踏まえた中での課題は出る可能性があるが、金谷区全体の課題となると、様々な地域特性があり、町内の住民が全てを把握しているわけではないので、その方向性を導き出すのは難しいのではないかと感じている。

それから、地域の課題等についても同じく、昭和町2丁目における課題であれば、焦点を絞って発言できる部分はあると思うが、金谷区全体の地域の課題となると意見が出にくいのではないかと感じている。その辺りの整理をどうするのか。「それでもよい」として、昭和町2丁目における課題等を拡大して金谷区全体の課題としてとらえていく方法もあるので、その方向性を出していただければありがたい。

【村田会長】

(2) 意見交換の「地域の課題等について」とは、私は昭和町2丁目を含めた地域の課題ととらえているが、金谷区全体でなくてもよいのか。

【難波主任】

阿部委員が言われることは、ごもっともである。まずは発言しやすい町内の課題について、もし町内会の役員であれば日頃活動しているうえで感じている疑問点など、こういうことがあったらよいといった忌憚のない意見を出していただければよい。それを受けて、委員の皆さんから地域でのそれぞれの立場で意見を出し「地域活性化の方向性」と共通する部分について意見交換していただければよい。

【阿部委員】

昭和町2丁目町内会では、町内会の規約や内規を作成している。これを参考資料として事前に委員の皆さんに事務局を通して配付していただければよいと思っている。よろしくお願ひしたい。

【村田会長】

金谷区には、28の町内会がある。町内会にはそれぞれの運営方法があるが、今回は最も大きな町内会である昭和町2丁目の事例と課題を私たちに教えていただく機会となり、学ぶものが多いだろうと思っている。規約等の資料を事前に私たちに示していただければ、会議が円滑に進むので、ぜひご協力をいただきたい。

「地域活性化の方向性」について報告をしなければならないが、この報告は私たち委員が行うのか。

【難波主任】

「地域活性化の方向性」の報告については、事務局が行いたいと思っている。これまでの作成経緯や内容に込められた委員の考え等について、5分程度で説明して、その後に意見交換する予定である。

【村田会長】

皆さんから出張協議会について意見をいただきたい。まとまりのない話をするのもいかなものかと思うし、地域の皆さんに具体的な話をする事ができればよい。阿部委員が言われたように、地域の皆さんは昭和町2丁目の近辺の事情については

詳しいが、一般住民が金谷区全体に関する意見を言うのは少し難しいと思われるので、金谷区全体について論じ合うことはそれほどできないのかもしれない。ただ聞くだけになってしまう人が出る可能性もある。そのことも配慮して、せっかくの出張協議会の機会なので、これから事務局と内容の時間配分などについて相談したい。

【高橋敏光委員】

いつも会議に出席しているが「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討について、この方向性とは何なのかが私にはわからない。「地域の活性化の方向性」について、何をどうするのかという細かい議論までしていないのに昭和町2丁目で何を報告するのかがわからない。

先ほど阿部委員からも話があったが、金谷区は北から南まで本当に広い区である。山間部と住宅地と商店街が混在している。私は、前回の会議の最後に「金谷区では山麓線沿いを中心に商業施設などが発展しており、活性化している」と言った。さらに発展させるためには、より広い課題を見つけて、それについて皆さんと協議していかなければならないが、それをしなくとも金谷区では自然に活性化していると感じている。このまま放っておいても商店はまだ増えていくはずである。これ以上に発展、活性化させるには、何を目標にするのか、例えば観光振興なのか、お祭りなどのイベントの充実なのか、稲作などの農業振興なのかなど、その辺りをこの協議会できちんと議論してもらいたいと思う。それがなければ、出張協議会で「地域活性化の方向性」の報告をすることはできないと思う。

「地域活性化の方向性」には「金谷山を中心とした自然・歴史・文化をいかし、活動がつながる地域を目指します」とあるが、これは言葉を並べただけで、実際に何をするのがはっきりしない。もし皆さんと一緒に地域を細かく回るのであれば、金谷山の歴史に関する場所を回るだけでも一日かかる。金谷山には歴史・文化に関わる場所がたくさんある。各町内会でそれぞれ問題がたくさんあると思うが、まずは金谷山周辺から始めればよいと思っている。

【村田会長】

高橋委員が言われるように「地域活性化の方向性」については、これまでに皆さんと多くの時間を費やしてタイトルと構成要素の四つを決定した。ただ、これに関

して具体的な取組等を審議していないため、今回はこの方向性そのものを昭和町2丁目の住民の皆さんにお知らせをするということである。この方向性を決定したので、これに基づいてこれから具体的な取組を協議するという報告になると思っている。事務局もそれでよいか。

【大島所長】

補足する。先ほど高橋委員が言われたことは、本日の議題（2）で話していただく内容だと考えている。出張協議会の前段は、会長が言われたように、これまで検討を重ねて「地域活性化の方向性」を協議会で作成したが、まだ具体的なものではなく、こういう方向性を目指していくと報告し、昭和町2丁目の住民の皆さんから「こうやっていけば何か実現できるのではないか」といった意見をお聞きする場だということである。それと並行して、これから本日の議題（2）で、まさに先ほど高橋委員が言われたようなこと、具体的にどのようなことをしていけばよいかを協議会として考えていただくことになろうかと思う。

【村田会長】

金谷区全体の方向性を報告することになるので、阿部委員が先ほどから言っているように、昭和町2丁目町内会の役員にはあまり馴染まないことになるかもしれない。金谷区全体について意見していただく人も来られるかもしれない。方向性を報告し、具体的な取組内容についてはこれから協議するという報告ととらえていただければと思う。

【阿部委員】

私としては、昭和町2丁目町内会の規約などの参考資料を提供するが、先ほども言ったように、金谷地区という広範囲の方向性や課題については、具体的な意見を出すことは難しいと思う。ただ、町内会での様々な活動を通じて感じる課題であれば、意見を出すことは可能だと思う。かなり限定的な部分での意見が出されるであろうと思っていただきたい。それらを参考に、地域全体に拡大できるのかどうかをこの協議会の一つの検討材料にしていただければありがたい。出張協議会で農村部、都市部、団地等が混在する金谷区全体の統一した課題等をいきなり出すことは困難だと思う。そのことをある程度理解していただければありがたい。

【村田会長】

出張協議会の内容等について、他に意見を求める。過去に開催した出張協議会では、一つの課題を決めて協議したこともあるし、地域の声を聞くことを主な目的として実施したこともある。昨年、向橋町内会館で開催した際は、ちょうど住民の関心が儀明川ダムに集まっていたので、そのダムを主なテーマとして意見交換をした。テーマとしてはよかった。今回も事務局と協議し、せっかくお越しいただく昭和町2丁目の住民にとって有意義な議論を交わすことができる場にしたいと思っている。

以上で、次第3 議題（1）出張地域協議会についてを終了する。

— 次第3 議題（2）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討について—

【村田会長】

次に、次第3 議題（2）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討についてに入る。

先ほど高橋委員から指摘されたように「地域活性化の方向性」を決定したものの、もっと具体的な取組について考えていかなければならない。今後、協議が進む中で、この取組から将来的には自主的審議事項につながっていく可能性もあるので、議題の表題をこのようにした。これについて、どのような取組が考えられるか議論を進めていきたい。具体的なことを一人一人からお話しただけであればありがたい。特に小林委員は、これまでに具体的な提言をされているので、改めて意見をいただければありがたい。

【小林委員】

先ほどお話しいただいたことと逆行するかもしれないが、金谷区の「地域活性化の方向性」を決める過程の中で、私たちはもう既に具体的なプランを持ち寄っているはずである。委員がそれぞれ描いている具体的なプランを集約して金谷区全体のタイトルとして決めたのがこの方向性だと思っている。皆さんの胸の中には、こう

であったらよいとか、このようにしたいという思いがたくさんあったはずである。それらを集約した結果がこの四つの構成要素の内容だと理解している。そのしたいことがバラバラで、それを誰がどのように具体的に実現していくのかということが皆さんの中で最もハードルが高いところで、どのようにしたらよいのか前進できない原因だと思っている。

私としては、情報発信や情報共有化のために様々な活動をしていただいている団体がたくさんあるのに、金谷区の住民に広く周知できていなかったり、ボランティアの人材が欲しいところに人手が足りなかったり、そのようなつながりをつくるために新しい金谷地区公民館を情報発信の拠点としたいというプランが一つあったと思う。ただし、これは再来年に向けた話になるので、その間にしたいことだけ議論していけばよいというよりも、個人的には実行できるところから着手していくべきではないかと感じている。その中で、株式会社ミーナハイペが立地的にも情報発信拠点としてもその機能を果たせる要素があるのではないかと考えている。当面の間、可能なところから協力をいただいて、少しでもすぐ始められるところから進めていくほうがよいのではないかと。

【村田会長】

ミーナハイペについては、社長から私たちと意見交換をしたいという要望をいただいております、既に日程調整もしてあるので後ほど皆さんに諮りたい。先ほど小林委員が言われたように、様々な団体がある。今回、ミーナハイペとの意見交換を最初に行うが、他にも協議していくうえで参考になりそうな団体を皆さんが承知していれば、ぜひこの場で言っていたきたい。小林委員は、これまで行ってきた協議の中で様々な考えをお持ちだったので、例えば、ミーナハイペ以外に考えていることがあるかお聞きしたい。

【小林委員】

情報集約と発信の手段として掲示板の設置がある。それを始めないと他に声をかけようがないと思う。まず、ミーナハイペが設置してくれるかどうかだが。レストランの中に金谷区の様々な情報を掲示できるエリアを設け「ボランティアを募集します」などを発信する環境を整えば、これまで活動されてきた団体等に「このよ

うな環境が整いました。活動の情報があればお寄せください」とか、人手不足で困っているところであれば「ボランティア募集を一緒にしてみましよう」という話もしやすいと思う。それを誰が担うかという問題が一つある。そのことについて、ミーナハライペと腹を割って一度話をしてみるべきだと思う。私たちが一方的に言うだけではなく、逆にミーナハライペからも要望がたくさん来るかもしれない。それについても、地域協議会が中心になって情報発信できることがあれば行いたいし、他の団体との連携が必要であれば、地域協議会から声をかけるのも一つの方法かもしれない。まずは、そのきっかけになる何かがほしい。

【村田会長】

ミーナハライペとの意見交換会については、後ほど皆さんに諮る。既に事務局がミーナハライペの社長と都合のよい日を決めており、皆さんに提示できるようになっている。「地域活性化の方向性」をもう少し具体的にするため、例えば小林委員が言われた“他の団体”について、皆さんにお聞きしたい。

【石川委員】

小林委員が言われたように、これまでに話し合った結果が「地域活性化の方向性」の四つの構成要素に表れている。私も小林委員の意見に賛成である。とにかく団体等の連携につながる情報を発信できる場所が必要だと思う。新しい公民館がどんなものとなるのかわからないが、公民館の中に金谷区の人たちのさらなる活動につながるよう意見の発信や情報収集をすることができる場所を確保できるのか。以前、産直市場をつくるという意見があったが構成要素には記載しないことになった。私は、金谷地区では地産地消を進めることが最も地域活性化の基になるのではないかと思っている。

事務局に伺いたいのが、例えば産直市場をつくることになったら、もちろん人手が要るし予算も必要になる。それらは、提案した私たちが確保しなくてはならないのか。市は、地域独自の予算事業では予算の上限が決まっていなかったと言っていたが、私たち地域協議会が行うことなのか、それとも行政から支援をしてもらえるのか。そこがはっきりしないので、新しい地区公民館が立地のよい場所にできるから地域活性化の拠点にすることができたらよいと思っていた。今後、公民館にそのような

要求をしてもよいものなのか。公民館の具体的な予算が公表されているから、建物の規模などはもう決まっていると思うが。

【大島所長】

「地域活性化の方向性」を作成する過程で様々な議論をしていただいた。先ほど石川委員が言われた産直市場は、その中の意見であり、集約する過程で実現性の面で難しいのではないかという意見もあったので、記載しないことになった経緯がある。ただ、方向性の中で何でも必ず実現性を前提にするわけではなく、やはり協議会の中で話し合っていた結果として、この方向性になったと思う。公民館の話もあったが、公民館の中に何か新しい要素を加えることは難しい。現実としては無理だと思う。先ほど、ヨーデル金谷で産直市場を行っても規模が小さいという話もあった。一方で小林委員から、まずどのようなことから始められるかという取り掛かりとして、情報発信のための掲示板を設置するという意見もあった。最初の一步を考えていくうえで、ミーナハライペは重要なパートナーだという委員共通の認識があり、意見交換をしようというところだと思っている。これから、この方向性に基づいて自主的審議につなげていきたいが、方向性に記載されていないものを含めてはいけないということではない。方向性を踏まえたうえで協議を進めていただければよいということであり、石川委員が言われた意見も改めて考えるべきであろうと議論いただくことは可能だと思う。ただ、先ほど言われた公民館でその話を受けとめられるかという点も難しいと思う。

【村田会長】

他の皆さんいかがか。「地域活性化の方向性」について具体的な取組など、意見があればぜひお聞きしたい。

【小林委員】

ヨーデル金谷は、石川委員が言われたような産直市場や農家の採れたての野菜売り場があれば、みんなが立ち寄るであろうよい立地だと思う。ただ、いきなり箱物をつくるのは難しいと思う。ミーナハライペから野菜販売の賛同をいただければ、例えば、ヨーデル金谷の食材としても使いたいとの要望があるかもしれない。また、朝収穫した野菜をランチの来客に販売してみたいという要望があれば、店先におし

ゃれなワゴンをつくってそこで販売する方法もある。ミーナハライペが販売許可を申請できるかどうかわからないが、地域協議会としてそのようなワゴンでの販売をどこかの組織にお願いしたり、そのための予算を確保したりといった展開は可能であるように思う。それが人気になって、人が集まるようになれば、また違った観点で誰かが参入してくる可能性もあるし、行政も何かを感じ取ってくれるかもしれない。小さいことでも皆さんのアイデアで何か形にできるものがあれば、一つずつでも形にしていくことが大事なのだと思う。

【高橋敏光委員】

「地域活性化の方向性」を決定したところだが、これまで地域活性化に向けて私も様々な取組をしてきたものの挫折をしてきた。以前にも話をしたと思うが、クラフトビールの工房を造ればよいのではないか。最近、三和区で新しいクラフトビールの工房が完成し、一步出遅れてしまった。ヨーデル金谷の場所に工房を造ってくださいという要望をしたことがあるが、なかなか進まない。

それから、ここにいる小林委員、高橋誠委員、長委員が防災の関係で昨年度、一生懸命に動いてもらい、大貫4町内の合同防災訓練を実施した成果もある。それ以来、防災関係の業者も金谷区に目を向けるようになった。

上越市では、消防署の分遣所が高士などにある。金谷区は発展しているし、面積も広いし、人口が増えているのに分遣所がなく、異常気象で自然災害が多い昨今、金谷区にも分遣所が必要である。地元の消防団員は高齢化しており、あまり活動できないというのが現状だと思う。市に「分遣所をつくってください」と要望したら、市の回答は「現状で適正に配置しており、全国的に標準な規則に適合しているため、今は新たにつくることはない」というものであった。しかし、金谷区では住宅地が増えてきている。また、昭和町1丁目、2丁目、私が住む御殿山町では狭い道路がある。このことを解決していかないと、地域活性化もできない。まずは観光でいくのか、農作物でいくのか、商店街でいくのか、何か物作りをして販売するのかといった方向性を決めてもらいたい。そうしなければ、情報発信するといっても発信先がはっきりしない。小林委員や高橋誠委員は、一生懸命に防災について考えてもらったが、私が市に分遣所の要望をしたら「適正に配置してある」という回答があっ

ただで終わったのがっかりした。そのような結果にならないよう、これから皆さんには地域活性化について一生懸命に協議を進めてほしい。

【村田会長】

皆さんいかがか。なかなか一言で言い現わせないし、難しいことだと思うが、これからさらなる議論を重ねて地域活性化の方向性を具体化させていくことができればよい。

併せて、ミーナハライペとの意見交換について、皆さんと話し合いをしたいと社長から快諾をいただいている。いつものように地域協議会として会議を開催すると、発言を全て会議録に残さなければならないが、社長から自由な意見を言えるような会議の形態にしていただきたいという意向があったので、地域協議会ではなく意見交換会として開催したい。ヨーデル金谷は、火曜日が定休日なので月曜日に開催したらどうかと提案があった。少し先ではあるが、11月27日の月曜日、午後6時から意見交換会を開催することで調整したが、皆さんいかがか。会場は、この福祉交流プラザの第1会議室でよろしいか。

(よしの声)

では、この日程、会場で決定する。

以上で、次第3(2)「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討についてを終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【村田会長】

次に、次第4「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・第6回協議会：令和5年11月1日（水）午後6時30分から
昭和田2丁目町内会館
- ・意見交換会：令和5年11月27日（月）午後6時から 福祉交流プラザ
- ・当日配布資料：令和4年度地域活動支援事業事例集（ご案内）

高士区、安塚区地域協議会の意見書

諏訪区、浦川原区地域協議会の地域活性化の方向性

男女共同参画推進センターのチラシ 2種類

【村田会長】

意見書を熟読していただき、私たち金谷区の意見書の参考になればよいと思う。
時間を作ってご確認願いたい。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。